

## 肺炎球菌ワクチン どれを選んだらいいですか？

肺炎球菌は強毒菌であり、IPD:侵襲性肺炎球菌感染症（髄膜炎、敗血症）が最も恐ろしい合併症です。肺炎予防だけでなくこれらのIPDを防ぐことがワクチンの役割であり、実際に小児では結合型ワクチンの接種開始後に髄膜炎が激減しました。

成人の方は従来は65歳でニューモバックスNPが定期接種でした（65歳時のみ接種券が送られてきて公費助成あり）。ここ数年は任意接種（自費で接種）としてのプレベナー20やキャップボックスの接種が効果が高いとされていましたが、費用面から今一つ広がりませんでした。

商品名	ニューモバックス NP	プレベナー20 (20価)	キャップボックス (21価)
正式名称	莢膜多糖体ワクチン	結合型ワクチン	結合型ワクチン
発売開始年	1988	2013	2025
助成制度	任意接種：5年以上空けて	小児定期接種：0～1歳（4回） 成人定期接種：65歳（1回）	<b>任意接種のみ</b> （今秋定期接種化？）
当院での接種費用	任意接種：7000円	定期接種：10000円 <b>任意接種：7900円</b>	任意接種：13500円
免疫応答	免疫記憶の誘導は弱い	長期の免疫記憶 （小児用の延長線上）	長期の免疫記憶 <b>より高齢者肺炎をカバー</b>
肺炎予防効果	33.5%	45.6%	データ未
IPD予防効果	42.2%	75.0%	データ未

この治療ギャップの解消に、2026年4月から、プレベナー20が定期接種（助成あり）になりました。少し遅れて2026年秋にはキャップボックスも定期接種になる予定とのことです。なお、ニューモバックスは定期接種から外れることになりました。

### →まだ肺炎球菌ワクチンを接種したことのない方

- 65歳の定期接種に該当する方：プレベナー20（自己負担7900円）
- それ以外の方：キャップボックス（自費13500円）かプレベナー20（自費10000円）

### →65歳時にニューモバックスしか接種したことのない方

75歳以上の方で、肺炎が心配な方（肺や心疾患、糖尿病や免疫疾患）のある方は、**任意接種でのキャップボックスかプレベナー20を一度は接種**していただくことをお勧めいたします。それだけの価値はある予防接種です。